

# Support

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

第10号

平成28年3月11日

編集・発行

学校支援課 広報担当

## 「学校図書館活用推進校事業」1年次報告

平成27～31年度「学校図書館活用推進校事業」(平成27年度推進校 30校(小21校 中9校))

### ねらい

- 新潟市内の小中学校における学校図書館の「読書センター」「学習・情報センター」としての機能をより一層高める。
- 各区で推進校を中心にして取り組み、その成果を実践発表会で共有し合う(2月8日～2月24日)

### 1 「読書センター」としての機能を高める

幅広いジャンルの本が読めるように、各学年にお薦めの本を20～30冊選定し、全て読み終わった児童にメダルや賞状を授与している小学校がありました。

ペアで同じ本を読み、話し合う「パートナー読書」に取り組んだ小学校や、図書委員会の運営で、何人かが自分の好きな本を紹介した後で、聞いていた人が読みたくなった本を投票で決める「ビブリオバトル」を開催した中学校もあります。



### 2 「学習・情報センター」としての機能を高める

多くの小学校が国語の学習で、同じ題材や同じ著者の本を読む並行読書を取り入れていました。

学校司書の協力を得て、授業で百科事典の引き方を学習した小学校もあります。

国語、社会、美術等で、図書館での調べ学習を取り入れ、授業を公開した中学校もありました。

引き方は、国語辞典とだいたい同じ。国語辞典に載っていないことが書いてあって面白い。

### 3 実践発表会の様子

2月9日に行われた江南区の曾野木中学校での発表会では、司書教諭と学校司書だけでなく管理職も出席し、今年度推進校と来年度推進校が向かい合わせに座り、全体発表後、校種別に詳細な情報交換を行いました。

以後、各区で開催された発表会でも、校種別情報交換の時間を設定して行いました。



今後、来年度以降の推進校にとって参考になる、全体計画、年間活用計画、実践事例、指導案等を、新潟市教育委員会のホームページにアップロードします。

## 「絵本」は幼稚園の「文化」から～沼垂幼稚園の取組～

幼児の生活にとって絵本はなくてはならない大切な存在です。市立幼稚園各園には文庫室があり、保護者の力を借りながら運営が行われています。

沼垂幼稚園では、5000冊の蔵書がある文庫室『さくらんぼ文庫』があり、毎週貸出日が設けられています。その日は絵本かばんを手に文庫室を訪れ、親子で相談しながら絵本を選びます。担任は、季節や子どもたちの発達段階に沿って本を選び、毎日読み聞かせを行っています。子どもたちの育ちにふさわしい本がいつでも手に取れるように保育室に配置するなど、絵本を大切な環境の一つとして整えています。

保護者が保育室に来て読みきかせを行う日や、担任が「親子」に読み聞かせる日も設けています。園でも家庭でも生活の中に絵本が息づくことが、子どもたちの豊かな成長につながっています。元気一杯の活動的な園児ですが、絵本の読み聞かせが始まると保育室はしんと静まりかえり、お話の世界にひたります。

「絵本」は子どもの生活そのものであり、幼稚園の大切な「文化」です。



沼垂幼稚園の“さくらんぼ文庫” 約5,000冊あります。

## アクティブ・ラーニングを取り入れた「主権者教育」

### 主権者意識を高める教育プログラム ～ 中高のつながりを意識したプログラム ～

#### 主権者教育のわらい

- 政治や選挙への関心を高め、政治的教養を豊かにする。
- 国家や社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養う。【文部科学省通知 平成27年7月28日】

#### アクティブ・ラーニングを取り入れて



新潟市主権者教育推進協議会

主権者意識を高める教育プログラム

市では、中学校・高等学校のつながりを重視し、主権者意識を高める教育プログラムを作成しました。これは、生徒の政治や選挙への関心を高め、政治的教養を豊かにすること、国家や社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことをねらいとしています。次年度、社会科等において確実な実践をお願いします。

プログラムの中には、地域の課題を追究し、その解決策を探る視点も示されています。例えば白南中学校では、地域の活性化のための取組を行って、実際に区長に提案し、そのプランが採用されました。政治は住民の意見を反映させることができる大切な活動であることを実感的に理解することができました。こうした能動的な学習を通じて、当事者意識を高める、主権者教育を推進していくことが大切です。